



A OAT 
OAT アグリオ株式会社

Corporate Profile





防除技術
(植物の薬)

施肥灌水技術
(植物の栄養)

バイオスティミュラント
(植物の免疫力向上)



食糧増産技術(アグリテクノロジー)と真心で、
世界の人々に貢献します。

世界の人口は、1950年の25億人から2000年には60億人を突破しました。しかしこの間、世界の耕地面積はほぼ横ばいです。この厳しい状況に対して、過去40年間で単位面積当たりの収穫量を2倍以上に押し上げる生産技術改革によって難局を乗り越えてきました。

2050年には、世界の人口が93億人に達すると推計されています。地球環境保護の観点から、今後これ以上の森林破壊は許されません。限られた耕作地で更に収穫量を上げていくために、新たな食糧増産技術(アグリテクノロジー)の開発が必要不可欠となっています。

豊かな実りを、世界中の人々の 健やかな暮らしのために。

私たちOATアグリオ株式会社は、2010年9月28日に大塚化学株式会社からMBO(マネジメント バイ アウト)により分離独立した会社です。

世界の食糧事情は今、極めて危機的な状況に直面していると言わざるを得ません。増え続ける世界人口を支えるためには、これまで以上に食糧生産能力を上げていかなければなりません。国連食糧農業機関(FAO)は、2050年までに世界の食糧生産を、今よりも更に70%増加させる必要があると発表しています。

こうした環境において、私たちのミッションは、現在および将来において危惧される食糧問題の解決に寄与することにあると考えております。

私たちはこれまで、農薬や肥料、あるいは独自の栽培システムなどを開発・製造・販売する過程で、作物の増収に寄与する「食糧増産技術」(アグリテクノロジー)としての総合的かつ包括的な技術の開発と体系化に取り組んでまいりました。この技術・ノウハウの蓄積を基礎に、今後、“新たな食糧増産技術”の開発を加速させてまいります。



代表取締役社長 森 明平

1 防除技術

2 施肥灌水技術

3 バイオスティミュラント

この3つの食糧増産技術(アグリテクノロジー)は、今後世界的に益々その重要度を増していくものと確信しております。

私たちは、OATアグリオ株式会社の企業理念である「食糧増産技術(アグリテクノロジー)と真心で世界の人々に貢献します」の実践を通し、世界的食糧不足の問題解決に、微力ながら取り組んでまいります。



事業内容

農業事業者や大規模植物工場など農業のプロから、ご家庭幅広い顧客層を対象に、実用性の高い製品と技術を開発・

当社のコアコンピタンス



食糧増産技術（アグリテクノロジー）

1

防除技術 (植物の薬)

自社開発した安全性の高い新しいタイプの農薬は世界各国で登録を取得しており、様々な地域、作物に使用されています。今後の更なる展開エリア拡大を目指しています。

2

施肥灌水技術 (植物の栄養)

水や肥料を有効利用する養液栽培技術のパイオニアとして、水耕栽培用肥料の国内トップメーカーのポジションを築いており、植物工場にも幅広く使用されています。

3

バイオスティミュラント (植物の免疫力向上)

植物が本来持つ免疫力を高める技術であるバイオスティミュラントにおいても積極的な研究開発を推し進めています。特に厳しい気象環境条件下でも植物の成長を助けます。

当社が提供する主な製品・技術

「安全性の高い自社開発製品・技術で世界の農業に貢献する」こと

農薬関連

「防除技術」の一つである農薬は、安全性と効果を両立させる上で長期にわたる開発期間を要します。そうした中で当社は、殺虫剤「オンコル(1982年)」、「オリオン」(1993年)、「オーシャイン」(2000年)、殺ダニ剤「ダニサラバ」(2007年)、殺菌剤「ガッテン」(2013年)などを着実に開発し、国内外で販売しています。

殺ダニ剤
「ダニサラバ フロアブル」



殺虫剤
「オンコル粒剤」

肥料関連

当社の肥料関連製品は、特に、即効性や吸収性に優れた特徴を有しています。「OATハウス肥料シリーズ」は、水耕栽培分野でトップシェアを築いており、大規模植物工場からご家庭まで幅広く使用されています。その他、「OK-Fシリーズ」、「タンクミックスシリーズ」、「養液土耕肥料シリーズ」、「亜リン酸肥料」なども好評を得ています。

のガーデニングファンまで提供しています。

当社の生産および研究開発体制

生産部門として「鳴門工場」を保有・稼働しています。

鳴門工場は、殺虫剤原体から、養液栽培用肥料、園芸用肥料、液剤の製造まで、様々な剤型に対応したプラントを有し、安全・安心な農作物に貢献する製品群を産出しています。

「研究開発そのものがビジネスである」という考えに基づいた体制を構築しています。

▶▶ 日本とインド2拠点の研究体制（基礎研究から応用開発まで）

研究開発部（徳島県鳴門市）では、「高い安全性」、「世界に通用する独創的技術」、「世界的なニーズの高い分野」をキーワードに、基礎研究、中間実験設備での試作から、応用研究まで担っています。また、2013年にはインドのInsecticides India Limited社との共同研究所「OAT&IIL India Laboratories Private Limited」を設立し、研究開発スピードの向上を図っています。

▶▶ 栽培技術や生産プロセスの研究開発部門も保有

当社の技術は、農薬や肥料などの開発にとどまりません。栽培研究センターやいばらき養液栽培共同試験農場では、様々な栽培技術や生産プロセスの開発・改善を行い、農業の収益性向上や安定化、環境に配慮した技術・農作物の品質向上などにつなげています。こうした総合的かつ包括的な技術力は、当社の大きな強みの一つです。



栽培研究センター

いばらき養液栽培共同試験農場



鳴門工場（徳島県鳴門市）



研究開発部（徳島県鳴門市）



インド現地法人
OAT&IIL India Laboratories Private Limited

を目指した当社の製品・技術は、国内のみならず世界各国でも高い評価を受けています。



亜りん酸肥料
「亜りん酸粒状1号・2号」

切り花ながもち液
「美味」

養液土耕栽培システム

関連会社「㈱養液土耕栽培研究所」と共同で、養液土耕栽培システムを開発・販売しています。これは、作物が必要な時に必要な分だけの水と肥料を自動的に施用するシステムです。現在、全国約2,800軒の農家に延べ約3,000台が導入され、農家の労働軽減、環境負荷低減、作物の品質・収穫量の向上などに寄与しています。



養液土耕栽培システムによるナス栽培の様子

* ナス、トマト、いちご、ピーマン、キュウリ、カーネーション、ぶどうなど多様な作物に対応可能な汎用性の高いシステム

私たちは、持続可能な社会を築いていくために、海外へ、そして個人のお客様へとアプローチを拡大しています。

海外事業

世界基準の視点から、海外展開を加速



タイの農家集会における商品説明会



カンボジアの農業小売店向け商品説明会



台湾の農業小売店向け商品説明会

殺虫剤、殺ダニ剤、殺菌剤、水稻除草剤など幅広い分野において、高い安全性と効果を両立させた製品を多数取り揃え、当社の製品は既に、全世界で広く使用されています。今後、世界の食糧増産に貢献するべく、常に世界基準の視点から技術・製品を開発し、アジア、米州、欧州、更にはオセアニア、アフリカをも展望して、海外展開を加速させていきます。

特に、市場の大きな伸びが期待されるアジア地域での展開を加速させるべく、2013年にパキスタンに販売会社「OAT Pakistan Private Limited」を設立しました。

AGRIO

幅広いグリーンライフを応援する情報発信活動を展開

農業のプロ向けに培ってきた高度な技術力を、ガーデニングファンをはじめとした幅広い個人の皆様のために、当社は最適な製品の開発・提供を行っています。加えて、より幅広いグリーンライフを応援するための情報発信サイト「AGRIO」を開発。ガーデニングに役立つ当社独自の製品の紹介から、専門家による講座まで、多彩な情報を満載しています。



>> <http://agrioshop.com/>

OATアグリオ行動憲章

私たちは、アグリテクノロジーと真心で信頼の構築を目指します。
私たちは、新たな課題、困難な問題に果敢にチャレンジいたします。
私たちは、粘り強く問題の解決に取り組みます。
私たちは、素早く判断し、素早く行動いたします。
私たちは、常に正直に、誠実に行動いたします。
私たちは、不当な圧力には決して屈しません。
私たちは、個性と互いの文化を尊重し、切磋琢磨して成長を目指します。
私たちは、限られた資源や地球環境を大切にいたします。

CSR基本方針

OATアグリオ株式会社は、「食糧増産技術(アグリテクノロジー)と真心で世界の人々に貢献します」という企業理念のもと、人々の豊かな暮らしづくりや、地球環境が抱える問題の解決に貢献できる企業を目指して日々挑戦しています。

また、経済性の追求、社会的活動、環境の保護に取り組み、お客様、株主、取引先をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様の信頼に応えるべくCSR活動を推進してまいります。

環境方針

OATアグリオ株式会社は、「食糧増産技術(アグリテクノロジー)」を通じて、環境にやさしい農業生産に貢献し、人々と自然が共生可能な社会づくりに貢献してまいります。



OAT アグリオ株式会社

〒101-0052
東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビルディング8階
TEL: 03-5283-0251 FAX: 03-5283-0258
<http://www.oat-agrio.co.jp/>

